

# 柴田車輛新聞 身を守る、ドライブレコーダー特集

## もしもの時の強い記録

### 前方を見守る確かな目

「衝撃映像は自動で保存」  
パバランチが飛びつきそうな言葉だが、これはドライブレコーダーの話である。普段は上書をしながら動画ファイルを作成し続けるが、衝撃を検知すると、検知した時点を含む映像が自動で保存される。また、停車しその場を離れていても、内蔵のバッテリーを使い検知から二十秒間の映像を自動で録画する。目を離しているときも心強い味方だ。

carrozeria  
TRIP to the EDGE

ドライブレコーダーユニット  
VREC-DZ300



シンプルな小型設計

本体は約6×6×4センチとかなり小型だ。だがその性能は侮れない。視野角は水平で九十五度、垂直で五十二度、対角で百十一度と「広範囲を見渡せる」。さらに画素数は二百七十万画素で「深夜など暗い箇所の録画にも対応している」上、急な明るさの変化による「映像のつぶれも補正」し、鮮明な映像を撮ることが出来る。  
車種によってもフロントガラスの角度は違う。この機種はカメラ部分の角度を調整できる為、視界を遮らずそれぞれの車に合わせる事が出来る。コンパクトで使い勝手が良いのが魅力だ。

## 後ろから追突されたら？不安なら全部見渡せばいいじゃない

ドライブレコーダーユニット

ZDR-015

COMTEC  
COMMUNICATE TECHNOLOGY



(左) 前方カメラ、(右) 後方カメラ

いつ何が起こるか分からない。そんなご時世だからこそ薦められるドライブレコーダーがある。それは前方後方録画をしてくれる機種だ。  
こちらは広角レンズを使い、視野角が水平で百十五度、垂直で五十八度、対角で百四十五とかなりの広範囲になっている。リヤカメラもほぼ同じくらいの範囲で見渡せる為、後ろからも前からいつでもかかってこい、といった守備力がある。  
また「ファイルの保護機能」「SDチェック機能」も付いており、事故で急に電源が切断された場合やSDカード破損の場合など、録画不備のリスクを軽減できるものだ。  
ノイズの対策も行っており、地デジやナビなどのGPS受信に影響を与えない。いざという時の保険というイメージの強いドライブレコーダーだが、「ドライブの記録映像を後から楽しむ」という楽しみ方も出来る。音声録音のON/OFFも切替が出来るため、シーンに合わせた録画も可能だ。ドライブが好きな方は、そんな楽しみ方も視野に入れて検討してみてもどうか。